

# 2020年12月期 第2四半期 決算説明

サイオス株式会社  
(東証二部：3744)

2020年8月3日

# 2020年12月期 第2四半期 業績の概要

# 2020年12月期 第2四半期 業績 (連結)



(単位：百万円)

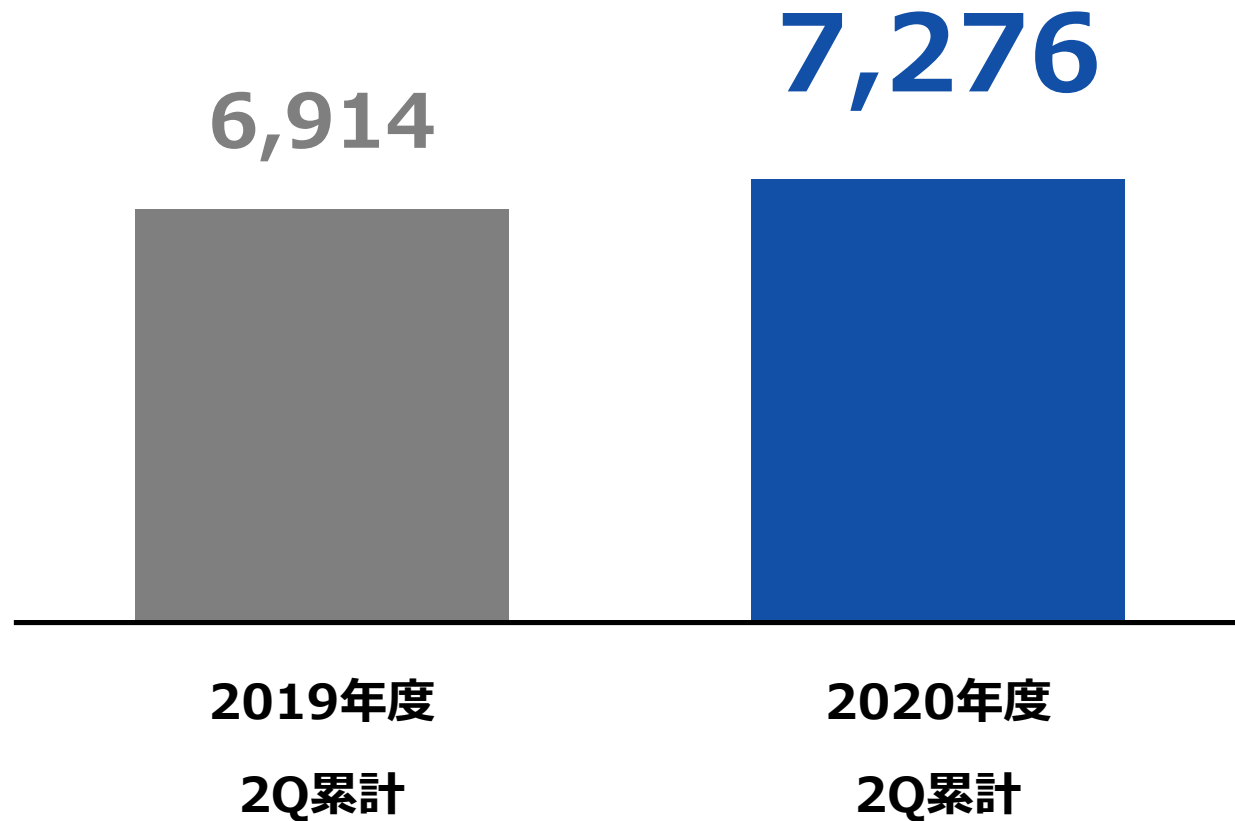
	2019年12月期 1-2Q実績	2020年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	6,914	<b>7,276</b>	+ 361	+ 5.2%
売上総利益	2,124	<b>2,178</b>	+ 54	+ 2.5%
営業利益	38	<b>54</b>	+ 16	+ 42.0%
経常利益	70	<b>57</b>	△ 12	△ 17.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ 20	<b>19</b>	+ 39	—
EBITDA	82	<b>101</b>	+ 18	+ 22.3%
ROIC(年率換算)	2.4%	<b>3.5%</b>	—	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

# 連結売上高

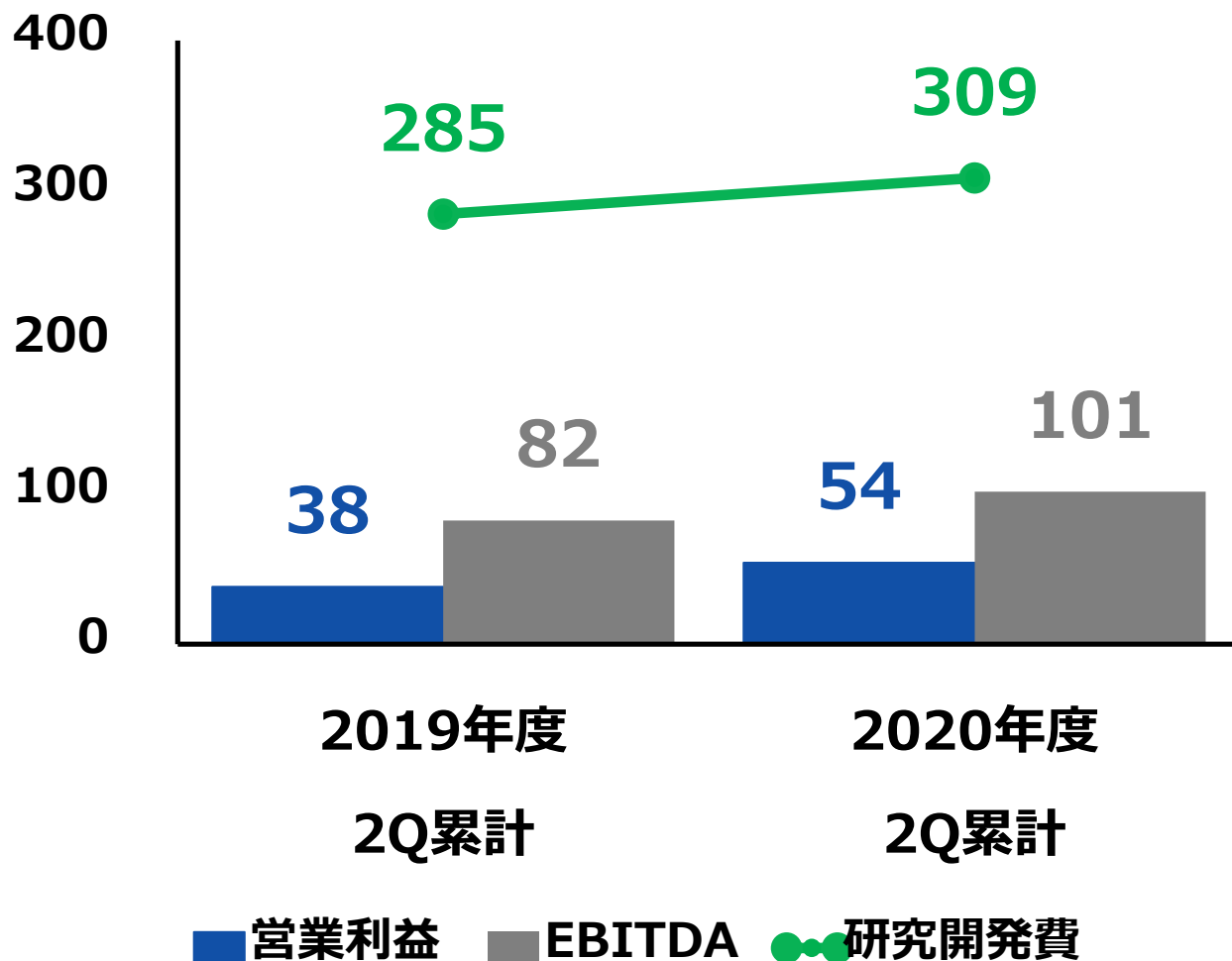
(単位：百万円)



過去最高  
を更新  
(5.2%増)

# 連結営業利益・EBITDA及び研究開発費

(単位：百万円)



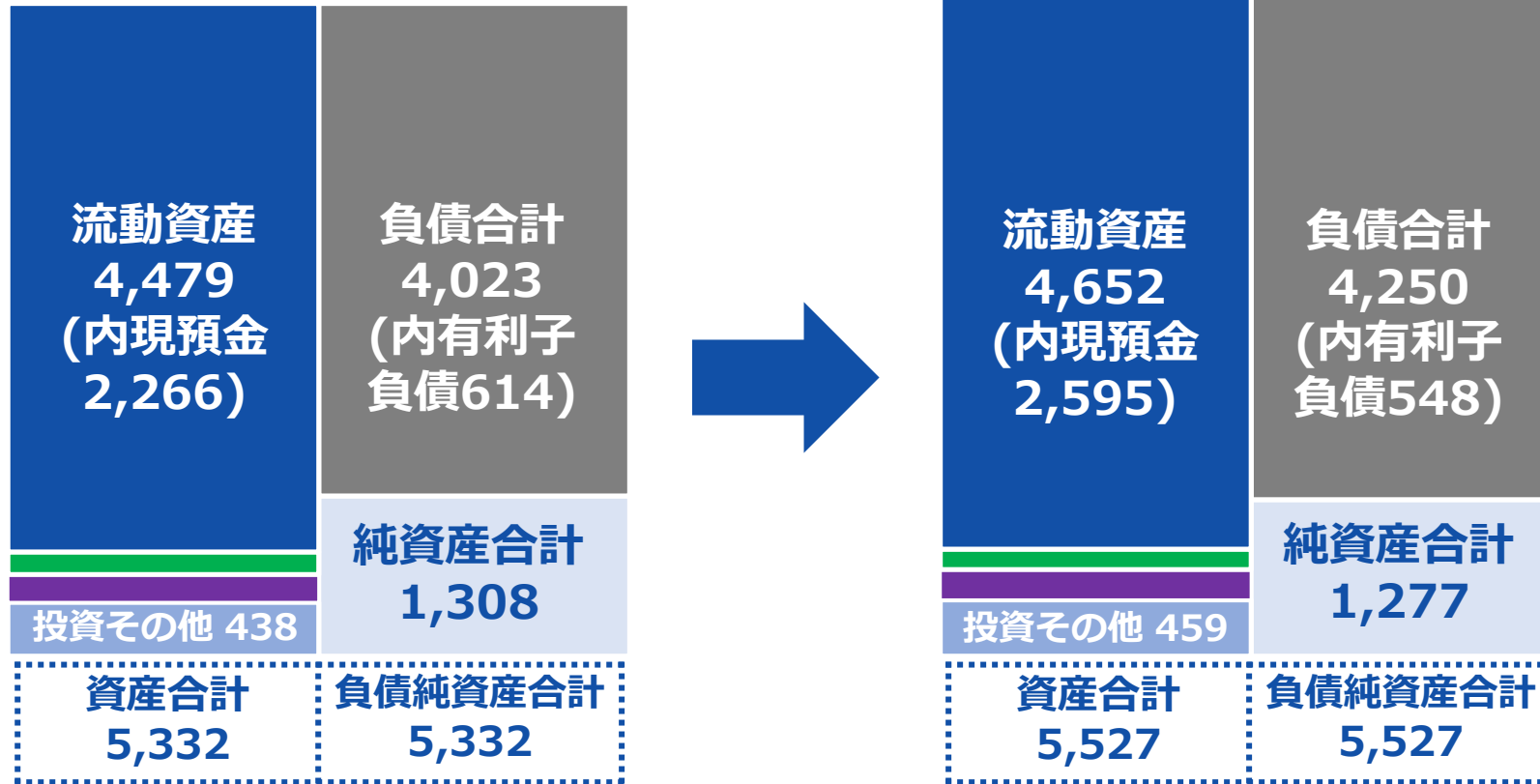
- 営業利益は前年同期比  
16百万円増加
- EBITDAは前年同期比  
18百万円増加
- 研究開発への継続的投資

# 貸借対照表 (連結)

2019年12月31日

2020年6月30日

(単位：百万円)

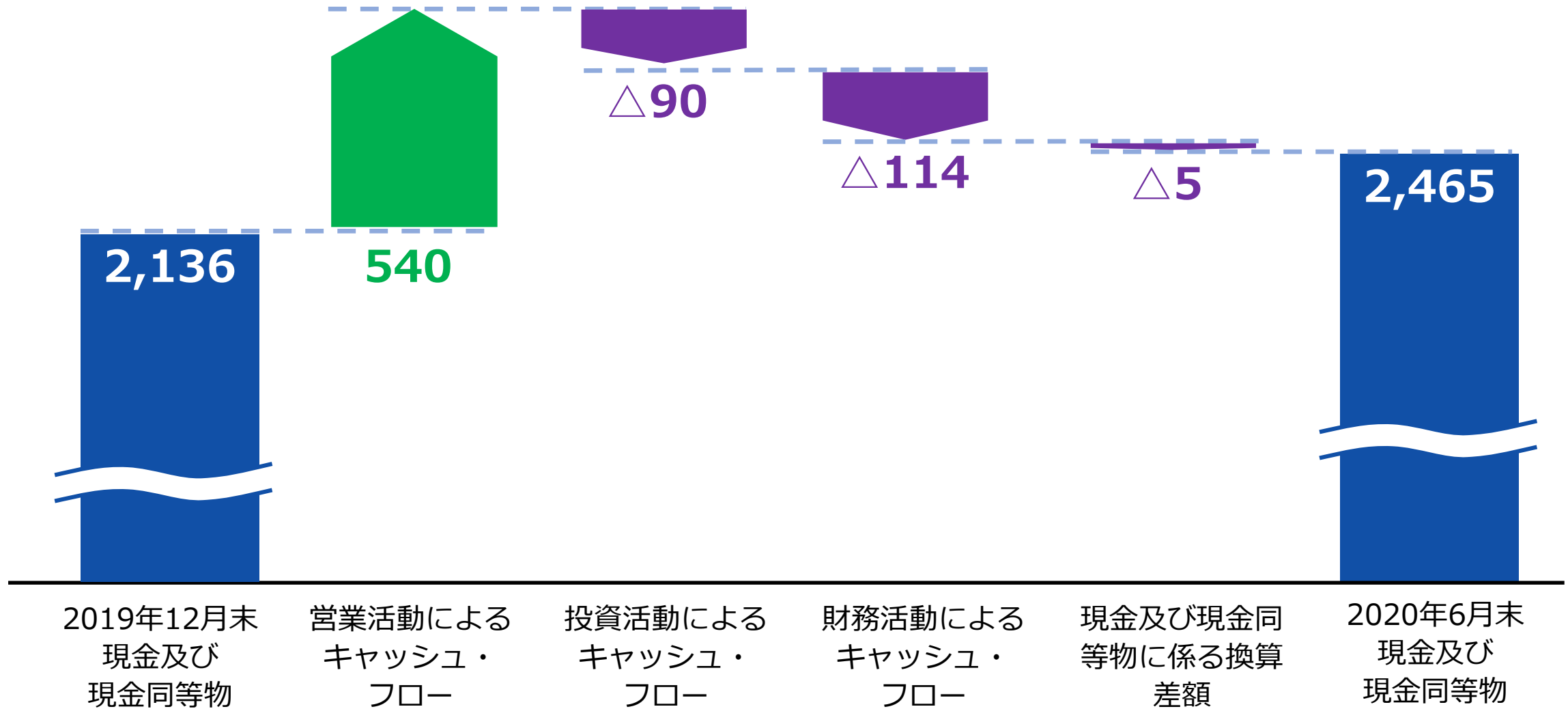


■ 有形固定資産 186 ■ 無形固定資産 226 ■ 有形固定資産 168 ■ 無形固定資産 247

- 流動資産：現金及び預金329百万円増加
- 流動負債：前受金359百万円増加

# キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)



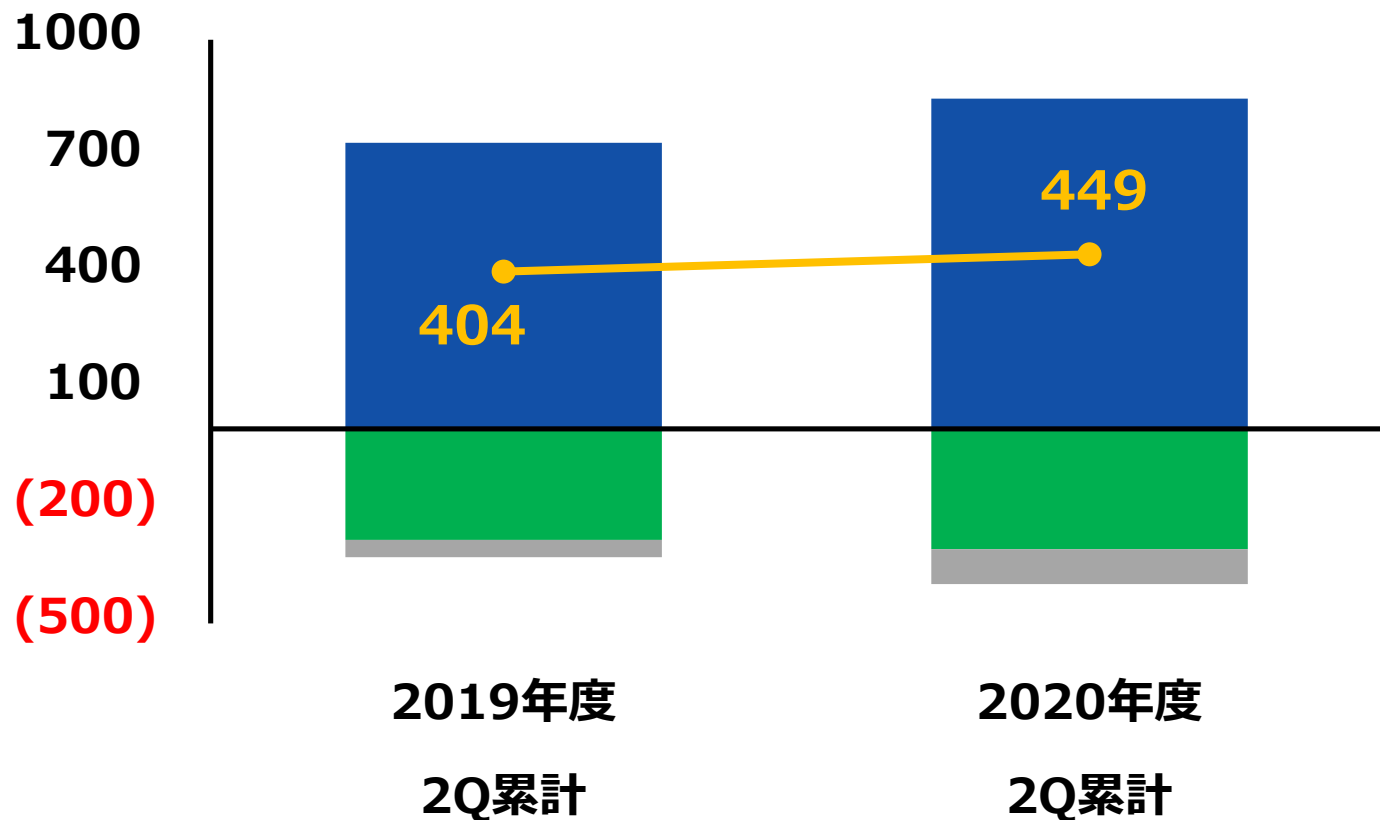
# キャッシュ・フロー変動要因

	営業キャッシュフロー	投資キャッシュフロー	財務キャッシュフロー
金額	+540百万円	△90百万円	△114百万円
主な項目	(+)税金等調整前利益 57百万円 (+)売上債権 145百万円減少 (△)仕入債務 83百万円減少 (+)前受金 367百万円増加 (+)未払消費税等 91百万円増加	(△)無形固定資産の取得 44百万円 (△)投資有価証券の取得 25百万円 (△)関係会社貸付 21百万円	(△)長期借入金返済 67百万円 (△)配当金の支払 42百万円



# キャッシュ・フローと投資の状況

(単位：百万円)



研究開発・投資の  
ためのキャッシュは  
着実に**増加**

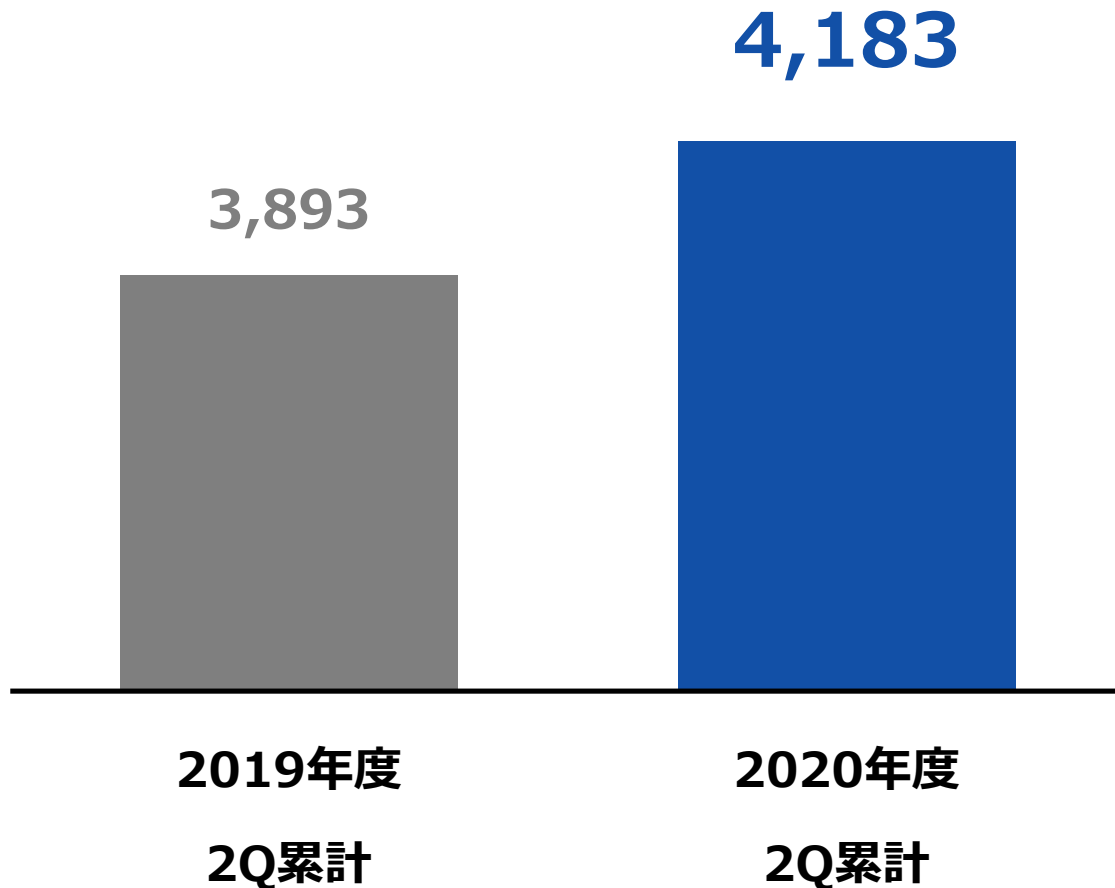
■ 研究開発費 ■ 投資CF ■ 営業CF(研究開発費除く) ● FCF

# オープンシステム基盤事業

売上高

4,183百万円（前年同期比 7.5%増）

（単位：百万円）



- 事業継続ソリューションは、主力自社製品「LifeKeeper\*」の国内向け販売が順調に推移したこと等により**堅調な増収**
- Red Hat, Inc.関連商品\*、OSS\*関連商品、OSSサポートサービスは**順調な増収**

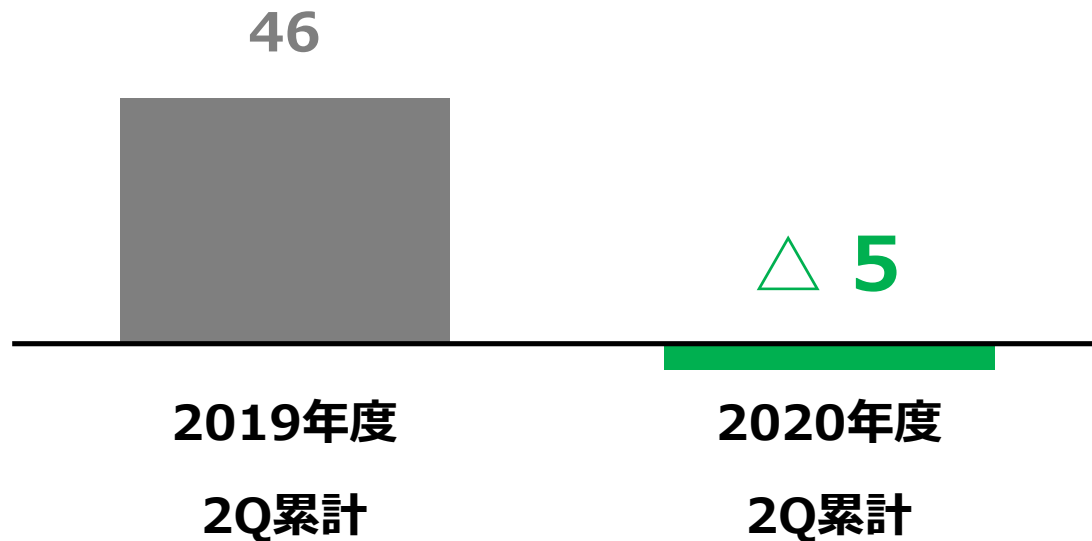
※「\*」を付した用語につきましては、28ページに注釈を記載

# オープンシステム基盤事業

## セグメント利益

△5百万円（前年同期は46百万円の利益）

（単位：百万円）



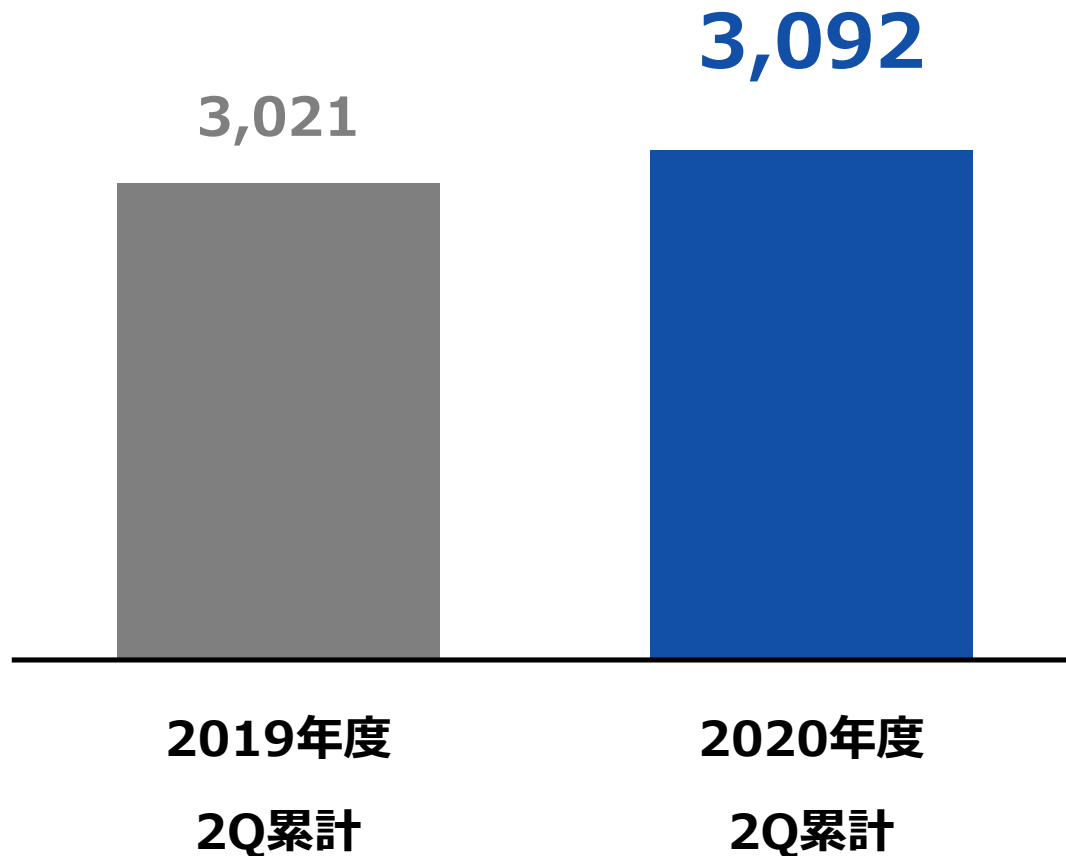
「LifeKeeper」の機能強化にかかる  
研究開発費、新規事業関連費用が増  
加したこと等により**減益**

# アプリケーション事業

売上高

3,092百万円（前年同期比 2.4%増）

（単位：百万円）

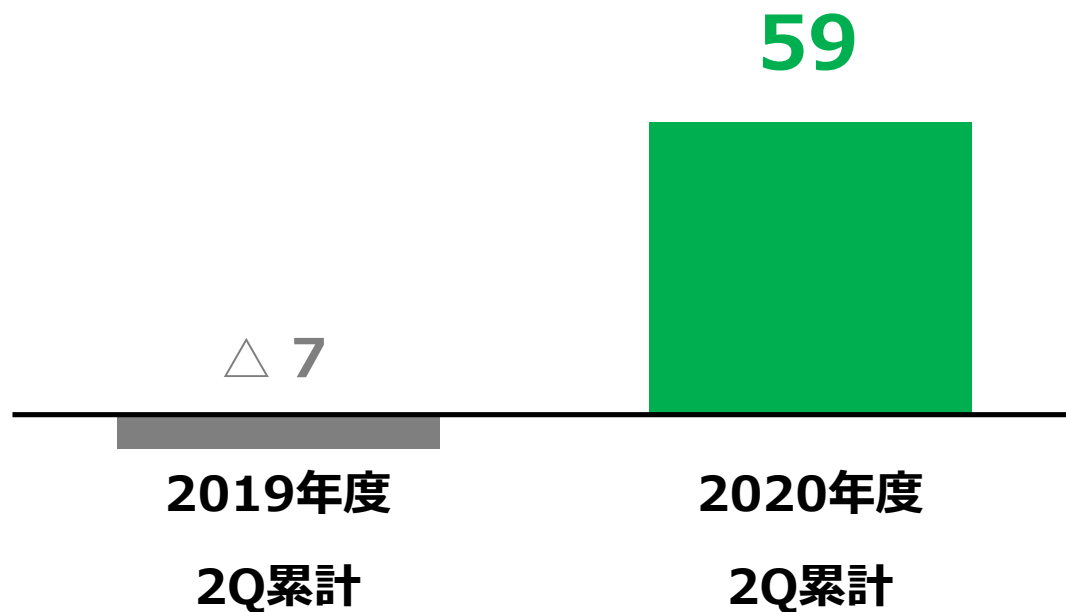


- システム開発・構築支援は、教育機関など文教向けを中心に**好調な増収**
- 主力自社製品のMFP向けソフトウェア\*製品はサブスクリプション\*販売への移行が進んだことにより**減収**

## セグメント利益

59百万円（前年同期は7百万円の損失）

（単位：百万円）



- 金融機関向け経営支援システム販売および文教向けシステム開発・構築支援は**増益**
- 金融機関向けシステム開発・構築支援において、外注費等の抑制により粗利率が改善したこと、前期に発生していた不採算案件の影響がなくなったことにより**増益**

# 2020年12月期 第2四半期の取り組み

# 基本方針と経営指標

## 会社経営の基本方針

当社グループは、「**世界中の人々のために、不可能を可能に。**」をミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献することを経営の基本方針としています。

## 目標とする経営指標

当社グループは、継続的なキャッシュ・フローの創出のため、**EBITDA**及び**ROIC**を経営指標としています。キャッシュ・フローは、当社グループ成長のための源泉（Driving Force）である「人材」「研究開発」「イノベーションを生み出す企業カルチャー」への投資、及び株主・ステークホルダーへの還元の出発点とし、これらの活動を通じて経営の基本方針の実現を目指します。

# 連結子会社間の合併

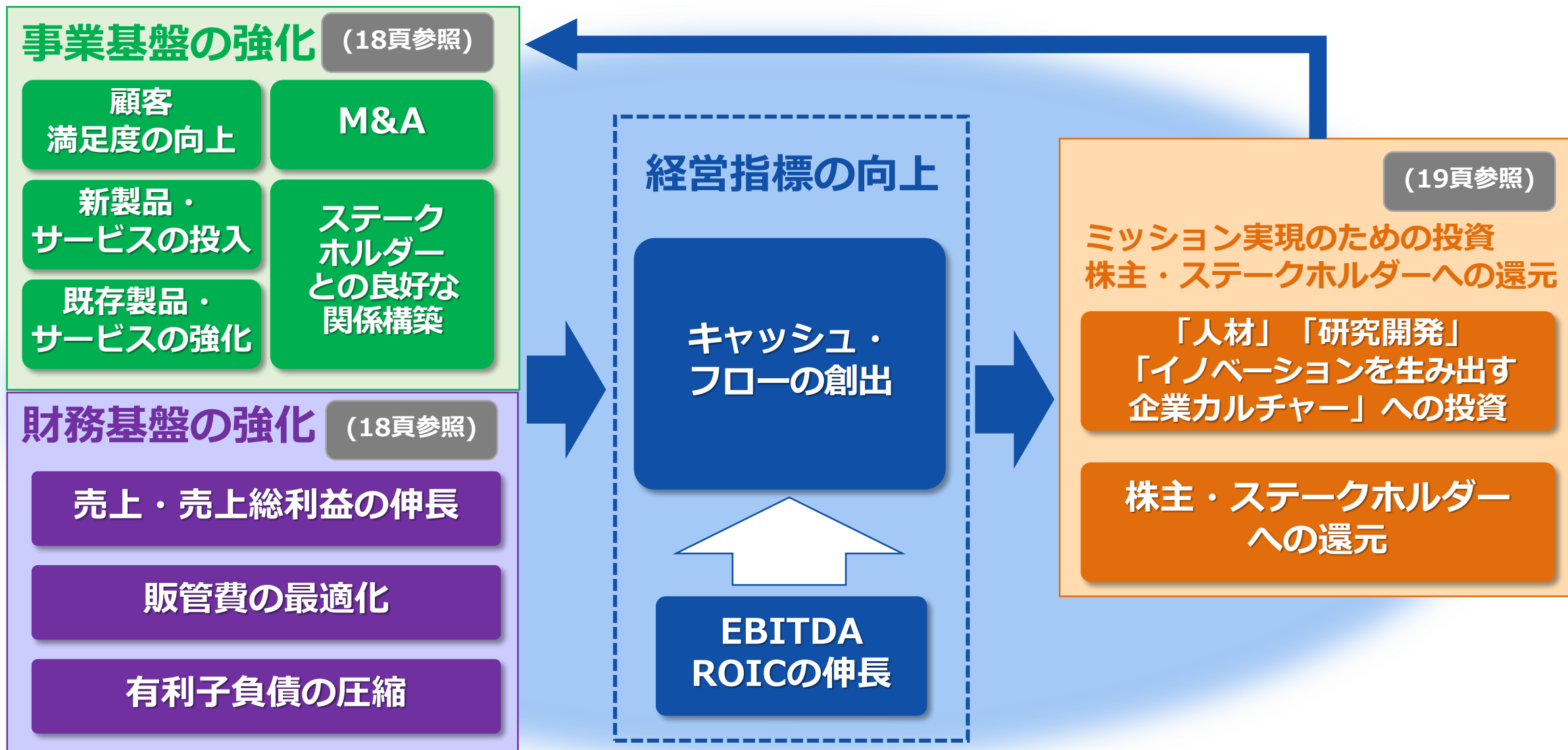
- サイオステクノロジー(株)を吸収合併存続会社として、(株)キーポート・ソリューションズ、(株)グルーエージェントを吸収合併消滅会社とする、吸収合併を行うことを発表
- 効力発生日は、2020年10月1日（予定）

## 合併理由

新型コロナウイルス感染症拡大で一変した社会経済環境の中、国内の主要子会社3社における人的資源・知的財産・資金等の経営資源を集中し、さらなる業務運営の効率化と生産性の向上をはかるため。



# 当社のミッションの実現のために



# 2020年12月期 第2四半期の取り組み①

新製品・  
サービスの投入

米DataStaxの分散クラウドデータベース  
「DataStax Enterprise」日本市場での  
ライセンス販売および導入運用サポート開始

既存製品・  
サービスの強化

クラウド型ワークフロー  
「Gluegent Flow Plus」提供開始

有利子負債  
の圧縮

借入金の返済67百万円

# 2020年12月期 第2四半期の取り組み②

「人材」「研究開発」  
「イノベーションを生み  
出す企業カルチャー」  
への投資

社員のリモートワークを支援する  
ため、新型コロナウイルス対応手  
当として、一律3万円を用途制限  
なしでグループ全社員に支給

株主・ステークホルダー  
への還元

1株当たり5円の配当を予定

# 新型コロナウイルス感染症 の影響と施策

## プラス影響

業務のデジタル化の加速

## マイナス影響

- 企業の新規投資意欲の減退
- プロジェクトの延期

デジタルトランスフォーメーション\*  
関連事業の強化

# 具体的な施策

## 事業施策

- ペーパーレスファクスソリューション「Easyファクス」の販売強化
- クラウド型ワークフロー「Gluegent Flow Plus」でパソコンやスマートフォン等から決裁業務を可能とし、ハンコ出社の削減に寄与
- コンテナ・プラットフォーム事業の受注に伴う体制拡充

## 社内施策

2020年7月1日より、国内拠点におけるサイオスグループの全社員を対象にリモートワーク勤務を基本とする柔軟な勤務体制へ移行し、事業継続力の強化と多様なライフスタイルに合わせた働き方を推進。

# 通期業績予想

# 2020年12月期 通期業績予想

## 10期連続の増収となる売上高143億円を計画

(単位：百万円)

	2020年12月期 1-2Q実績	2020年12月期 業績予想	進捗率
売上高	7,276	<b>14,300</b>	50.9%
営業利益	54	<b>80</b>	68.0%
経常利益	57	<b>100</b>	57.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	19	<b>40</b>	49.5%
EBITDA	101	<b>180</b>	56.1%
ROIC(年率換算)	3.5%	<b>2.8%</b>	—



# 当期の配当予想

	第23期 2019年12月期 (前期実績)	第24期 2020年12月期 (当期末)
年間配当	5円	5円

配当予想  
(2020年12月期)

1株当たり5円の配当を予定

# Appendix

# サイオス株式会社について



## SIOS is Innovative Open Solutions

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結432名 (2019年12月31日現在)
主な 連結 子会社	サイオステクノロジー (株) SIOS Technology Corp. <米国> (株) グルージェント (株) キーポート・ソリューションズ Profit Cube (株)

当社は、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア、AI、クラウド、金融技術に卓越した強みを有するテクノロジー企業群を子会社に持つ東証二部上場の持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」  
をグループミッションに、  
イノベーションによって  
人々の課題を解決し、  
より良い社会の実現に  
貢献してまいります。



# 用語集

頁	用語	説明
10	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
10	Red Hat, Inc.関連商品	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
10	OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
12	MFP向けソフトウェア	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。
12	サブスクリプション	ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。
21	デジタルトランスフォーメーション	企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

# ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

## 本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

[https://mk.sios.com/SIOS\\_Inquiry.html](https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html)



SIOS